

## 講習会「リモートセンシング技術の基礎と災害評価への応用」

近年のリモートセンシング技術の発展は著しいものがあり、2010年ハイチ地震や2011年東日本大震災など最近の大規模災害における広域での被害情報の収集手段として、その有効性が示されつつあります。しかし、リモートセンシング技術を効果的に利用するには、リモートセンシングの基礎、目視判読や画像処理技術、地理情報システムの理解と習得が必要となります。

日本地震工学会（担当：事業企画委員会）では、「リモートセンシング技術の基礎と災害評価への応用」をテーマとし、リモートセンシング技術の理解を目的として、下記の要領で講習会を開催いたします。奮ってご参加の程、宜しく願いいたします。

### 記

1. 主催：日本地震工学会（担当：研究統括委員会）
2. 日時：平成24年7月19日(木)、9:50～17:00
3. 場所：キャンパスイノベーションセンター東京・田町1階国際会議室  
(東京都港区芝浦3-3-6)
4. プログラム：
  - 09:50～10:00 開会挨拶他
  - 10:00～11:15 リモートセンシングの基礎 山崎文雄（千葉大学）
  - 11:15～12:00 光学センサ画像を利用した地震被害判読 三浦弘之（東京工業大学）
  - 12:00～13:00 昼食（60分）
  - 13:00～13:45 SARの基礎と強度画像を利用した地震被害抽出  
松岡昌志（産業技術総合研究所）
  - 13:45～14:30 SARの干渉処理と災害把握 古田竜一（リモートセンシング技術センター）
  - 14:30～15:15 リモートセンシングによる津波被害評価 越村俊一（東北大学）
  - 15:15～15:30 休憩（15分）
  - 15:30～16:15 リモートセンシングによる復興モニタリング 村尾修（筑波大学）
  - 16:15～17:00 リモートセンシングによる橋梁構造物被害把握 庄司学（筑波大学）
5. 定員：80名（先着順にて締切）
6. 参加費：正会員3,000円 非会員6,000円 学生1,000円
7. 申込・問合せ先：別紙の申込書より、電子メールでお申し込み下さい。  
折り返し申し込み受付有無の返信をいたします。  
日本地震工学会事務局 鳴原 E-mail: office@general.jaee.gr.jp  
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館  
電話 (03) 5730-2831 FAX (03) 5730-2830
8. 申込〆切り：平成24年7月13日(金)

## 申 込 書

行事名	講習会「リモートセンシング技術の基礎と災害評価への応用」		
氏名			
所属学会等	該当項目に○をつけて下さい <input type="checkbox"/> 日本地震工学会 ( <input type="checkbox"/> 正会員・ <input type="checkbox"/> 法人会員・ <input type="checkbox"/> 学生会員 ) <input type="checkbox"/> 上記所属会員外 <input type="checkbox"/> 一般学生		
勤務先		所属部署	
連絡先	〒		
	Tel :	FAX :	E-mail :
参加費	3000 円 ( 正・法人会員 )   6000 円 ( 会員外 )   ※当日徴収 1000 円 ( 学生会員・一般学生 )		
通信欄			

※ 申し込み後の無断キャンセルはご遠慮下さい。